

道徳学習指導案

日時 平成20年7月1日(火)2校時

学級 3年1組

授業者 校長 寺田 勉

構想提案 h20.6.14

事前検討会h20.6.18

修正提案h20.6.25

1 主題名 国際的視野・日本人としての自覚・地球環境保全(4-(10))

2 資料名 「地球環境のために、東芝は一般白熱電球の製造を中止します。」
2008.6.5(木)朝日新聞・東芝の全面広告

3 ねらい

地球の温暖化は人類の生存に大きく関わる問題となっている。「低炭素化社会」を目指して世界が動き始めている。環境のために日本企業も動いている。

「地球規模で考えて、足下で行動する。」世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視点に立っての行動が求められている。

生徒たちが電球型蛍光灯に替えるなど「持続可能な社会」を考える具体的な機会としたい。

4 研究主題との関連

本校の研究主題「豊かな心を持ち、主体的に取り組む生徒の育成」の具現化を図るには、生徒は道徳授業を担当以外からも受けてさまざまな価値観に触れ、「目に見えにくい」大切なものがあることに気づくような魅力的な教材・資料の開発が重要である。

今回は地球環境を主課題として日本で開催される「北海道洞爺湖サミット」の直前に、新聞記事・広告を活用しての授業展開を試みた。このようなチャレンジの繰り返しが、本校学校目標の「心の豊かさ」につながると考えた。

5 本時の展開

学習内容・活動内容	教師の支援	評価
<p>1 洞爺湖環境サミットや夜の地球写真から地球環境を考える。 事前アンケート調査の発表 「自宅の照明での省エネ対策は？」</p> <p>2 玄関灯の疑問について考える ・つけない ・センサーライトに交換 ・訪問者のあるときだけ</p> <p>3 ある企業の宣言広告を考える。 「地球環境のために、 白熱電球の製造中止の宣言」</p> <p>・支持・不支持与その理由について発表し合う。</p>	<p>パネルの提示</p> <p>アンケート結果の紹介</p> <p>玄関灯写真の提示</p> <p>新聞の提示とダイジェスト配布</p> <p>売れているのになぜ製造中止なのかを考える。企業にとって利益のあがるのはどちら。</p>	<p>地球規模の環境について関心を持てたか。</p> <p>足下の各自宅の玄関灯に関心を持てたか。</p> <p>様々な視点でその理由を考えたか。</p> <p>[15分]</p>
<p>4 3種類の電球を比較してみよう。 提示された資料と実演・観察から班別に話し合う。</p> <p>結果を全体で発表し合う。 電気代の視点だけでなく、持続可能な視点、CO2の視点で考える。</p>	<p>話し合いの結果を画用紙にまとめる。</p> <p>同じ明るさを保ちながら地球環境を配慮した選択とはどれか。</p>	<p>資料と実験をもとに班活動が進められたか。</p> <p>[20分]</p>
<p>5 再度、製造中止を決めた企業態度をどう思いますか。 また、授業後の感想について書きなさい。</p> <p>6 発表し合って、感想を共有する。</p>	<p>「環境問題を優先した結果の決断」気持ちの変化や感想を発表し合って、みんなで勉強した「目に見えにくい」省エネ対策について「共同確認作業」をする。</p> <p>お互いの変容をや考えの深化を認識し合う。</p>	<p>授業の前後の自他の感想から、変容を感じることができたか。</p> <p>省エネ対策につながる気持ち芽生えたか。</p> <p>[15分]</p>

6 評価

企業の「白熱電球の製造中止」を考えることで「私にできる環境対策」を考えられたか。
みんなで意見交換することで、自分の考えが変化し深化したか。